

倫理様式第 1 号  
令和 2 年 4 月 22 日  
承認番号 20-6

1 研究題目

ファビピラビル等の抗ウイルス薬が投与された COVID-19 患者の背景因子と治療効果の検討

2 研究の対象

当院において、入院前、または入院後の検査検体から SARS-CoV-2 が検出された方

3 研究目的

ファビピラビルなどの抗ウイルス薬やその他の抗ウイルス効果が示された薬剤が投与された COVID-19 患者の臨床情報を収集、分析することで各薬剤に COVID-19 に対する治療効果が見られるかどうかを検討する。

診療で得られた情報を用いる後ろ向き観察（コホート）研究であり、対象者の方の臨床情報を藤田医科大学で集約し、解析を行う。

4 研究期間

2020 年 4 月 22 日～2020 年 12 月 31 日（ただし、流行状況により変動）

5 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、入院日、入院前の所在（自宅、療養施設など）、基礎疾患、SARS-CoV-2 検出日、SARS-CoV-2 検出日の所在（ICU、病棟など）、COVID-19（肺炎）の重症度、抗ウイルス薬による治療の内容、治療への臨床的反応、退院先（自宅、療養施設など）等

6 研究責任者

内科：水戸川 剛秀